科目名称	病態治療論Ⅶ（周産期の経過）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期	1	30
担当教員	古谷　公一	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 医師 ） □ 無	

【1】 授業概要

妊娠・分娩・産褥期にある対象および新生児期にある対象の正常・異常な経過を理解し、異常な経過に移行しないための予防や早期発見の方法、異常に移行した場合の援助方法を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 妊婦・産婦・褥婦および新生児の正常の経過、異常が理解できる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	第1章 第 2 章 母性の発揮を促す看護	講義
2	第3章 妊娠期における看護(1)	講義
3	第3章 妊娠期における看護(2)	講義
4	第4章 分娩期における看護	講義
5	第5章 第6章 新生児期、産褥期における看護	講義
6	第7章 妊娠の異常と看護(1)	講義
7	第7章 妊娠の異常と看護(2)	講義
8	第7章 妊娠の異常と看護(3)	講義
9	第7章 妊娠の異常と看護(4)	講義
10	第7章 妊娠の異常と看護(5)	講義
11	第7章 分娩の異常と看護(1)	講義
12	第7章 分娩の異常と看護(2)	講義
13	第7章 分娩の異常と看護(3)、新生児の異常と看護(1)	講義
14	第7章 新生児・産褥の異常と看護	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。

【6】 教科書

森恵美:系統看護学講座　専門分野　母性看護学（1）　母性看護学概論（第 14 版）　医学書院　2023
森恵美:系統看護学講座　専門分野　母性看護学（2）　母性看護学各論（第 14 版）　医学書院　2023

【7】 参考書

【8】 受講生へのメッセージ